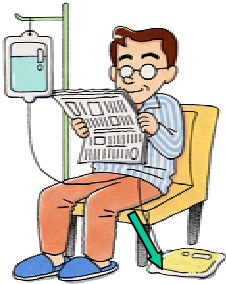


CAPDの操作方法

透析液を腹腔から排液し、新しい液を注液することを、バッグ交換と呼びます。通常1日4回行い、交換時間は約30分です。バッグ交換は特別に難しいことではなく、医療スタッフの指導をよく守れば誰でも行えます。高齢の方や、糖尿病による視力障害、手先の弱い方には、バッグの付け替えと殺菌を自動的に行う小型のバッグ交換器もあります。



カテーテルに透析バッグのチューブをつなぎ、腹腔に入っている老廃物を含む液を排液します。(約20分)



腹腔内の液が全部出たら、また新しい透析液を腹腔内に入れます。チューブを外します。(約10分)



貯留している間、自由に活動することができます。

CAPDの ポイント

- 体内の腹膜を使って、体内で血液を浄化します。
- カテーテル留置手術が必要です。
- 24時間連続した透析で、体に与える負担は少ないです。
- 家庭や職場など、社会生活の中で、患者さん自身が行います。